

2019年12月26日

各 位

会社名 株式会社タカミヤ
代表者名 代表取締役会長兼社長 高宮一雅
(コード番号2445 東証第一部)
問合せ先 取締役兼常務執行役員
経営管理本部長 安田秀樹
(TEL. 06-6375-3918)

土地取得に関するお知らせ

当社は、本日、2025年日本国際博覧会（以下、「大阪・関西万博」）開催予定地である大阪湾の人工島「夢洲」周辺のベイエリアならびに関西圏における開発・インフラ整備需要に対応するため、兵庫県が所有する大阪湾岸エリアにある「フェニックス事業用地A-1ブロック（57,851.08㎡）」の土地の売買契約を締結しましたことをお知らせします。

記

1. 取得の目的

大阪湾の人工島「夢洲」では、2025年に大阪・関西万博開催が予定されており、また、統合型リゾート計画の候補地となっていることから、今後、都市開発やインフラ整備需要が増加することが予想されます。これらの開発予定エリアへ、建設工事に欠かせない仮設機材を迅速に供給する体制を整備することが、当社グループの企業価値向上を持続する上で重要であると判断いたしました。

当社は、2018年5月31日付「2018 中期経営計画」で発表いたしました、中期経営ビジョン『トランスフォームにより新たな価値を創造し、業界の質的発展を牽引する企業グループを目指す』に沿って、安全性に優れた次世代足場の普及促進など、様々な改革を遂行実現してまいりました。当社グループは、本件土地を有効活用し、持続可能な社会の実現にむけ、経済発展、技術革新の寄与に努めてまいります。

(1) 未来志向の仮設機材整備工場

今回の取得した土地は、現在再開発が進行するJR大阪駅周辺エリアから自動車でのアクセスも20分程度と近接しております。また、阪神エリアの都市機能が集中する中心部からも短時間でアクセスすることが可能であり、仮設機材の仮置き場を確保しづらいう都心部の改修工事現場からの利便性も有しております。

本件土地に新たに構築する施設では、従来の仮設機材整備工場の概念を変えるべく、積極的にAI、IoT、AGVを導入し、仮設機材の搬入・搬出作業、運搬車両の待機時間低減、整備作業の省エネ・省力化・少人化に努めてまいります。また、将来的な自動化の実現に努めるとともに、既存レンタル事業モデルの革新も進め、今後一層、顧客サービスの拡大・拡充に努めるべく、順次設備、体制を整えてまいります。

(2) 海外で生産した製品の供給拠点

本件土地は、港湾設備に近接しており、仮設機材をはじめとした海外生産拠点からの輸入品の物流拠点として、西日本エリアでの効率的な製品流通システムを構築し、納期短縮や運搬コストの低減など、総合的なサービス向上施策により、差別化を進めてまいります。

(3) 新製品の展示、技能習熟を実現する多目的施設

開発した新製品を多くの顧客にご評価いただき、さらなる製品改良につなげるため、体験型

の展示施設の開設を計画しております。建設現場における様々な課題を実際の現場を模した状況で足場を設営するなど、安全面、効率面で貢献できるよう努めてまいります。

また、関西都市部からのアクセスも良いことから、足場組立解体の特別教育、フルハーネス型墜落制止用器具特別教育など、取引各位からのご要望にも積極的に対応、実施してまいります。

2. 取得の概要

- (1) 名称：フェニックス事業用地
- (2) 所在地：兵庫県尼崎市東海岸町沖地区
- (3) 敷地面積：57,851.08㎡

3. 今期業績に与える影響

本件が今期の当社の連結業績に与える影響は、現在精査中です。今後開示すべき事項が生じた場合には、速やかに開示いたします。

以上